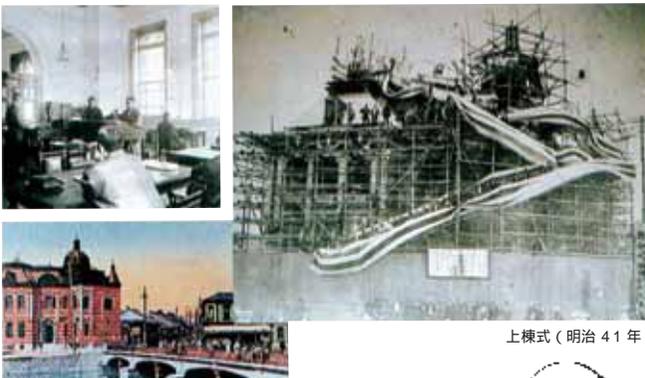


この建物は、日本生命保険株式会社九州支店の社屋として、明治40年8月に着工し、明治42年2月に竣工しました。昭和44年3月に国の重要文化財に指定されたのを機に、福岡市が買収し、昭和47年11月から平成2年3月まで歴史資料館として活用を図りました。その後、市民に開かれた歴史遺産として保存活用を図ることになり、平成4年度から5年度にかけて復元・整備を行い、平成6年2月「福岡市赤煉瓦文化館」として開館しました。

設計者は辰野金吾工学博士、片岡安工学士です。角地に合わせて凹凸に曲線を交えた複雑な平面を持っています。中央部にはドームを載せて小塔や屋根窓を多彩に配した屋根と、赤煉瓦に白い花崗岩の帯を装飾的に使った外壁は、華やかに街角を飾っています。このスタイルは、辰野博士のロンドン留学時代、19世紀末にイギリスで流行したクイーンアン様式の応用で「辰野式」と呼ばれました。この建物は、その特徴を良く表わしています。



上棟式（明治41年）

利用案内

開館時間 午前9時～午後9時
 休館日 毎週月曜日（祝日のときは翌日）
 12月28日～1月4日
 福岡市中央区天神 1-15-30
 TEL 092-722-4666

交通案内

市営地下鉄 天神駅（12番出口）
 西鉄バス 天神4丁目下車すぐ
 市役所北口下車徒歩3分
 昭和バス 天神4丁目下車すぐ

建築概要

敷地面積 597.85m²
 建築面積 281.8m²
 構造 煉瓦造、2階建、地下1階、中央部塔屋付スレート葺、
 ドライエリア 煉瓦堀付属、便所



案内図



福岡市赤煉瓦文化館
 Fukuoka City Akarenga Culture Center



緑青のふいた屋根とドーム。赤と白の華やかな外壁。明治の西洋建築を代表する『赤棟瓦文化館』の建物が、修復を終え、新たなランドマークとしてよみがえりました。

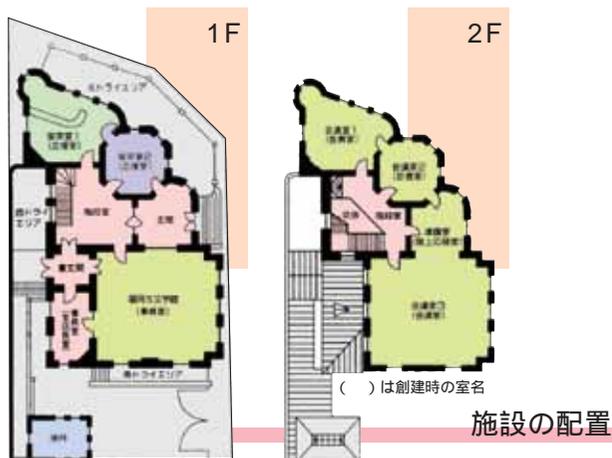
カーテンなど、内装の大部分も建築当時の仕様に復旧されました。照明器具や階段の装飾、外柵などに、アール・ヌーボーの影響がうかがえます。簡素な中でも、優れた意匠が随所に生かされたこの空間を、福岡の新たな都市文化の場として、ご活用ください。

開かれた文化活動の場



会議室 1 (定員 12名)

アール・ヌーボー調の大理石の暖炉、タレット部の親柱、カーテン等、見どころが多い。



会議室 2 (定員 8名)

正八角形の部屋で、まっ白な漆喰塗の折上げ天井が美しい。

会議室 3 (定員 30名)

前室を持つ大きな部屋に古典主義様式の暖炉が置かれている。

